

生涯現役時代の「50歳からの働き方」

～キャリアの節目をしっかり潜り抜け、自分の未来を拓くために～

50歳という区切りは、『会社人生の生まれ変わりの時』です。この節目を上手く超えて、生涯イキイキ働き続け、イキイキ生きる術を身に着け、会社、組織からもずっと必要とされる人材になっていくことが50代に求められています。

本研修は、今までの人生を振り返り、50代を会社任せで漠然と過ごすのではなく、自身のモチベーションと向き合い、自己責任でキャリアビジョンを描く意欲を形成するためのプログラムです。

私自身が50歳で会社人生を卒業し、これからの人生をどう生きようか真剣に悩んできた実話を元に、50代の厳しい転職事情をお話します。組織において50代に求められることは何か？そしてこれまで培ってきた経験でどう貢献できるのか？生涯現役時代の後半を迎えるにあたり、何を意識しどう働くべきかに気づいていただきます。

基本プログラム例

時間	内容
13:30	オリエンテーション 【1】50代を取り巻く会社、社会の現実 <ul style="list-style-type: none">・会社人生で起きる3大ショック(組織風土の変化、役職定年、定年)・①組織の変化を前にしての3つの選択・②役職定年、不本意な人事異動を受けての3つの選択・50代で感じるキャリアへの不安(年収、介護、老後)・50代のハローワーク(再就職できる人、出来ない人)・50歳のキャリア棚卸で見えること・③定年逃げられないキャリアの正念場での3つの選択
15:00	【2】キャリアビジョンを描くために <ul style="list-style-type: none">・45才～人生に起きるキャリア・クライシス(危機)・人生を振り返り、過去の節目に気づく・CB(Carrier breakthrough)チェック・脱昭和、脱バブル人生観・変化を受け入れ、自分も変化し続ける・50代に会社が求める役割は「貢献」・エンプロイヤビリティを高め続ける働き方こそ充実感
16:30	終了

※時間配分につきましては、当日の進行状況により変更の可能性があります

◆講師紹介

キャリアコンサルタント

やまおか まさこ

山岡 正子



1961年生まれ。20代の頃はプログラマ、PCインストラクターとして働き続けながら、結婚、出産、育児に奮闘してきた元祖ワーキングマザー。2度目の離婚をきっかけに一家の柱になるべく35歳でIT系ベンチャー企業に転職。営業部長、マーケティング部長を経て40歳で取締役へ就任し、JASDAQ上場を経験。その後、経営企画室、人事部長に就任するも役職定年の処遇をきっかけに50歳で退職。人材開発業界に転身し、キャリアコンサルタント、研修講師としてセカンドキャリアをスタート。同じ時期に高齢となり自宅介護が必要になった父は他界し、一人娘は独立。現在は、80代の母を支え、支えられながらの日々。生涯現役でイキイキ働き続ける社会、組織作りを個人のキャリア支援を中心に展開中

▶ 最新情報はホームページをご確認ください。 <http://yamaokamasako.com/>